

授 業 科 目 名	教育社会学概論 (Sociology of Education)		
科 目 番 号	9200311	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	通年	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	立石 慎治 (tateishi.shinji.gw@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ウ ー	月曜日 11:30-12:30		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)教育社会学の基本概念および理論の学習を通して、教育事象をみるための社会学的方法論を身につける。</p> <p>(2)学校教育がもつ二面性——今後の社会を形成する機能的側面と、これまでの社会の構成にとつての原因的側面——について理解する。</p> <p>(3)現代日本のカリキュラム政策の動向、その政策的意図、および社会的帰結について理解する。</p>		
授 業 の 概 要	<p>教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場合は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的關係を伝達することが、本講のテーマである。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回：教育社会学の視座と方法</p> <p>第2回：教師・児童生徒・カリキュラム</p> <p>第3回：教育機会と進路選択</p> <p>第4回：高等教育</p> <p>第5回：市民社会と学校教育の課題</p> <p>第6回：ジェンダーと学校教育</p> <p>第7回：子どもの問題の現在(事件や事故を中心に)</p> <p>第8回：子どもの暮らし・遊び・学びの場としての地域及びその安全</p> <p>第9回：子どものメディア利用と子どもの安全被害</p> <p>第10回：教育社会学の課題と展望</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	毎回の授業で提出するコメントシートの内容(40%)、期末試験(60%)		
テ キ ス ト	飯田浩之・岡本智周編『教育社会学』吉田武男監修、ミネルヴァ書房、2018年。		
参 考 文 献	<p>柴野昌山・菊池城司・竹内洋編『教育社会学』有斐閣、1992年。</p> <p>岡本智周・田中統治編『共生と希望の教育学』筑波大学出版会、2011年。</p> <p>宮寺晃夫・平田諭治・岡本智周『学校教育と国民の形成』学文社、2012年。</p> <p>日本教育社会学会編『教育社会学事典』丸善出版、2018年。</p> <p>その他、必要な文献は教場で指示する。関連資料は随時配布する。</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	テキスト、参考文献、または、自身で探し当てた文献等を用いて予習、復習をすること。また、「社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出している」という見方が当てはまる身の回りの事象がないか、探してみることに。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	習ったことは使ってみる、学んだことは真似してみるのとはとても大切なことです。この授業で触れた知識やものの見方を活用するという心の準備とともに受講してください。		
備 考			

授 業 科 目 名	教育社会学概論 (Sociology of Education)		
科 目 番 号	9200321	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	通年	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	徳永智子 (tomokot@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ウ ー	水曜 11:30-13		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1) 教育社会学の基本概念および理論の学習を通して、教育事象をみるための社会学的方法論を身につける。</p> <p>(2) 学校教育がもつ二面性——今後の社会を形成する機能的側面と、これまでの社会の構成にとつての原因的側面——について理解する。</p> <p>(3) 現代日本のカリキュラム政策の動向、その政策的意図、および社会的帰結について理解する。</p>		
授 業 の 概 要	<p>教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場合は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的關係を伝達することが、本講のテーマである。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回： 教育社会学の視座と方法</p> <p>第2回： 教師・児童生徒・カリキュラム</p> <p>第3回： 教育機会と進路選択</p> <p>第4回： 高等教育</p> <p>第5回： 市民社会と学校教育の課題</p> <p>第6回： ジェンダーと学校教育</p> <p>第7回： 子どもの問題の現在 (事件や事故を中心に)</p> <p>第8回： 子どもの暮らし・遊び・学びの場としての地域及びその安全</p> <p>第9回： 子どものメディア利用と子どもの安全被害</p> <p>第10回： 教育社会学の課題と展望</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	毎回の授業で提出するコメントシートの内容 (40%)、期末試験 (60%)		
テ キ ス ト	飯田浩之・岡本智周編『教育社会学』吉田武男監修、ミネルヴァ書房、2018 年。		
参 考 文 献	<p>柴野昌山・菊池城司・竹内洋編『教育社会学』有斐閣、1992 年。</p> <p>岡本智周・田中統治編『共生と希望の教育学』筑波大学出版会、2011 年。</p> <p>宮寺晃夫・平田諭治・岡本智周『学校教育と国民の形成』学文社、2012 年。</p> <p>日本教育社会学会編『教育社会学事典』丸善出版、2018 年。</p> <p>その他、必要な文献は教場で指示する。関連資料は随時配布する。</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	受講者には、テキスト等を使用し、十分な予習と復習を行うことを求める。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	初回に座席を指定するので、必ず出席してください。		
備 考			

授 業 科 目 名	教育社会学概論(Sociology of Education)		
科 目 番 号	9200331	授 業 形 態	講義
単 位 数	1単位	標 準 履 修 年 次	1年次
実 施 学 期	通年	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	徳永智子(tomokot@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	水曜 11:30-13		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)教育社会学の基本概念および理論の学習を通して、教育事象をみるための社会学的方法論を身につける。</p> <p>(2)学校教育がもつ二面性——今後の社会を形成する機能的側面と、これまでの社会の構成に与える原因の側面——について理解する。</p> <p>(3)現代日本のカリキュラム政策の動向、その政策的意図、および社会的帰結について理解する。</p>		
授 業 の 概 要	<p>教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場合は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。</p>		
授 業 計 画	<p>第1回：教育社会学の視座と方法</p> <p>第2回：教師・児童生徒・カリキュラム</p> <p>第3回：教育機会と進路選択</p> <p>第4回：高等教育</p> <p>第5回：市民社会と学校教育の課題</p> <p>第6回：ジェンダーと学校教育</p> <p>第7回：子どもの問題の現在(事件や事故を中心に)</p> <p>第8回：子どもの暮らし・遊び・学びの場としての地域及びその安全</p> <p>第9回：子どものメディア利用と子どもの安全被害</p> <p>第10回：教育社会学の課題と展望</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	毎回の授業で提出するコメントシートの内容(40%)、期末試験(60%)		
テ キ ス ト	飯田浩之・岡本智周編『教育社会学』吉田武男監修、ミネルヴァ書房、2018年。		
参 考 文 献	<p>柴野昌山・菊池城司・竹内洋編『教育社会学』有斐閣、1992年。</p> <p>岡本智周・田中統治編『共生と希望の教育学』筑波大学出版会、2011年。</p> <p>宮寺晃夫・平田諭治・岡本智周『学校教育と国民の形成』学文社、2012年。</p> <p>日本教育社会学会編『教育社会学事典』丸善出版、2018年。</p> <p>その他、必要な文献は教場で指示する。関連資料は随時配布する。</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	受講者には、テキスト等を使用し、十分な予習と復習を行うことを求める。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	初回到に座席を指定するので、必ず出席してください。		
備 考			